

皮膜, 皮質毳状層様細胞群, 皮質束状層様細胞群の順に皮質組織と同様な配列をなしている. Eosin 染色性, Sudan III, Sudan IV, Oil Red O に対する染色性や反応も皮質組織と殆んど同様であり, 細胞像もそれぞれ皮質の各層の細胞と酷似している.

このような髄質内皮質様組織は副腎皮質の皮膜が中心静脈に沿って, または皮質内を通過して, 中心静脈壁に陥入してそれから毳状層様細胞群が発生しているように考えられる.

この髄質内皮質様組織の存在は山羊の年齢との関係は認め難く, 雌雄による差異も顕著ではない. また副腎重量との相関も明らかではない. しかし卵巣別出後4ヶ月の山羊には8例中僅かに1例に認められたに過ぎないことは注目すべきことと思われる.

### 179. あふりかさいの解剖

特に器官の形態について

橋本善之 (大阪府大)

和田辰己 (大阪動物園)

アフリカ産のこくさい *Rhinoceros bicornis*, LINNE 雌1頭を剖検する機会を得た. 主要器官の形態について興味ある所見を認めることができたので, 牛馬と比較して報告する.

1) 上下顎とも切歯・犬歯は欠けている. ただし下顎には左右1対の痕跡的な小歯が認められる.

2) 胃は甚しく屈曲し, 噴門と幽門とは接近し, また噴門部大彎に盲嚢が認められる. 胃の粘膜面をみると, 噴門よりに広い食道部が存在する. 以上の点は馬の胃によく似ている.

3) 小腸の粘膜面には明瞭な輪状壁が認められる. 盲腸は大であり, 大結腸は馬に似て重複結腸を示している.

4) 肝臓は外側左葉, 内側左葉, 内側右葉, 外側右葉および尾状葉に分けられる. 胆嚢は存在しない.

5) 脾臓の形態は長舌状で, 牛に似る.

6) 腎臓は外観分葉状で牛の腎臓に似る. 一方腎臓の輪廓は馬に似て左右で異なり, 左腎は卵円形で, 右腎は三角形を示している.

7) 子宮角長く, 子宮体は短い. 子宮体には子宮底より中隔が内腔に突出し, 子宮底には角間靱帯が認められる. 分裂子宮に属し, 牛の子宮に似ている.

8) 肺の分葉は馬に似る. 左肺は尖葉, 横隔葉からなり, 右肺にはさらに中間葉がつく, ただ, 尖葉, 横

隔葉間の切痕は馬より深く明瞭である.

### 180. マウス精巣上体の微細構造

望月公子 西田司一 (東大)

精巣上体の機能については, 従来分泌または吸収のみに, あるいは分泌と吸収の両者に関与するという説があって一定していない. 演者等は精巣上体の本態を解明する目的で形態学的な検討を行なっている間, 精巣上体を構成する管系には組織および組織化学的に著しい部位差のあることを知った. そこで更にこれらの部位差を検討すると同時に, 分泌若くは吸収像と考えられて来た形態学的事実に対して, 電子顕微鏡による検討を加えた. その結果,

1) Stereocilia は一般に頭から尾に向い次第に短くなると同時に密生する傾向をもつが, 尾の一部では特に著しく細長となり他部位から明らかに区別される特徴を示した.

2) 所謂粗面小胞体は, 頭の Initial segment の細胞に限り認められた.

3) 小胞体の形態は Init. seg. において, ほぼ同大の微細な小胞として認められるが, 頭より体に移行するにつれ, 粗大, 不規則となり体より尾に向い不明瞭となった. 精管上皮には, 指紋様の不規則で特有な lamella 構造があったが, 小胞は殆んど認めえなかった.

4) Apocrine 分泌像と考えられる形態が頭および尾に認められたが, 後者の方がより複雑な形態を示した.

5) 大型空胞は一般に頭の部分に多く, 体に少ない. しかし体の尾側端および尾の部分には, 大型空胞と, 電子密度の高い大型顆粒を特に多数含み, また microvilli の発達が悪い細胞が混在した.

6) 核内にみられる小体は, 核分泌像というより, 細胞質の一部が核内に取り込まれたと考えた方が妥当と思はれる.

発言 見上晋一 (岩手大) Endoplasmic reticulum と vacuole の関係について伺いたい.

答: Endoplasmic reticulum, 所謂粗面小胞体は Initial segment にのみ, みられる.